

事前評価調書

I 事業概要		
事業名	治山事業（予防治山事業）	
地区名	豊田市中当町イナバ他	
事業箇所	豊田市中当町イナバ他	
事業のあらまし	治山施設を整備することにより、荒廃溪流を保全し、山地災害を防止する。	
事業目標	【達成（主要）目標】 谷止工 2 個を設置及び本数調整伐を 4.6ha 行い、荒廃溪流の保全及び荒廃森林の健全化を図る。	
事業費	事業費	
	内訳	
	32 百万円 ■工事費 30 百万円、■用補費 1 百万円、■その他 1 百万円	
事業期間	採択予定年度 平成 27 年度 着工予定年度 平成 28 年度 完成予定年度 平成 28 年度	
事業内容	谷止工 2 個を設置及び本数調整伐を 4.6ha 行う。	
II 評価		
①事業の必要性	1) 必要性	当該地域では、溪流及び森林の荒廃が進み、山地災害の発生の恐れが懸念されている。地元からの事業実施の要望も強いいため、治山事業の実施が必要である。
	判定	A A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。 【理由】 山地災害の未然防止を図る上で、当該地域における事業実施が必要であるため。
②事業の実効性	1) 事業計画	平成 28 年度に調査測量委託を 1 百万円で行い、工事を 31 百万円で行う計画となっている。事業期間は平成 28 年度で、総事業費は 32 百万円の予定である。
	2) 地元の合意形成	合意済み
	判定	A A：事業計画の実効性が期待できる。 B：事業計画の実効性が期待できない。 【理由】 地元の合意形成が図られており、実効性が期待できる。
III 対応方針		
妥当である	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべて A 判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。	
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容		
■対象（事業完了後 5 年目） □対象外 【事業完了後 5 年を越えて実施する理由・対象外の理由】 【主な評価内容】 治山施設の整備状況		